

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学 A	単位数	2 単位 (1～3 学期)	学年・学科・コース	3 年・衛生看護科
使用教科書	最新数学 A (数研出版)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	総合演習 第1章 場合の数と確率	場合の数や確率を求めるとき基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			様々な事象に対して、順列や組合せを使い分けながら場合の数を求めることができる。	授業態度 課題 定期考査
				○		場合の数を数える適切な方針を考察することができる。	
					○	複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。	
8 9 10 11	総合演習 第2章 図形の性質	平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	○			定理を適切に利用して、線分の比や長さ、角度などを求めることができる。	授業態度 課題 定期考査
				○		静的・動的な図形の性質を多角的に捉え、考察することができる。	
					○	図形の性質やその証明に興味・関心を持つことができ、複雑な図に対しても積極的に考えようとする。	
12 1 2	総合演習 数学 A	既習の知識を利用し、問題を解くことができるようにする。	○			公式を用いて、解答を導くことができる。	授業態度 課題
				○		問題の意味を捉え、的確な方法で解答することができる。	
					○	様々な問題を興味・関心をもち、考察しようとする。	